

Press Release(2012/11/7)

－ 岐阜大学環境月間行事 －

第34回岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」

岐阜大学では、岐阜大学環境月間行事の一環として、「環境ユニバーシティフォーラム」を下記のとおり開催します。

市民の方に多数ご参加いただきたく、貴社の情報コーナーで紹介くださいますようお願いしてお取り計らい願います。また、当日の取材につきましても併せてお願いいたします。

記

日 時 平成24年11月15日（木）16時10分～17時40分

会 場 岐阜大学全学共通教育棟 多目的ホール

講 演 『自然環境について考える －『文明の災禍』ということ』

講師：内 山 節 氏

哲学者、NPO法人・森づくりフォーラム代表理事

近著：『ローカリズム原論～新しい共同体をデザインする～』

（農文協 2012年）

※事前申し込み不要，聴講無料

講演概要

「自然とは何か」という問いに対する答えは地域によって異なる。とすると日本の人々は自然をどのようなものとしてとらえ、自分たちの社会をつくってきたのであろうか。人間たちは自然とどのような関係をつくりながら生きてきたのか。そのことによってどのような自然環境が生れてきたのか。

近代＝現代的な世界は自然を人間が征服し、管理するものとしてとらえようとした。この人間中心主義は自然環境を破壊していったばかりではなく、征服し管理する人間の力を競い合う時代をつくりだした。それが市場での競争や効率を重視する社会を生みだし、今日の市場原理主義的な世界をも生みだしてしまった。

この時代のもつ異常さを明らかにしたのが原発事故でもあった。自然環境を考えることは、近代以降の社会を問いなおすことでもあり、この社会をどう作り直すのかという課題でもある。

【本件に関する問い合わせ】

岐阜大学環境対策室 TEL：058-293-2117